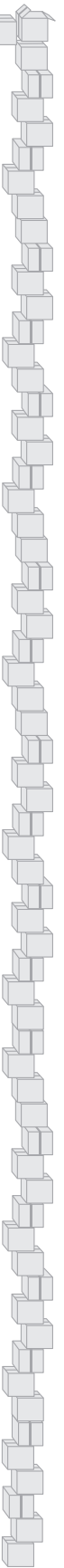


ウサギのように跳ねて運をつかみましよう



新年、おめでとございます。

おかげさんで、この連載も一回目のお正月を迎えました。そして回数も一二回目と、えらい長いものになってます。

編集部に聞きますと、僕のこのコラムを、よう読む人は併せて岸本葉子さんのエッセイ「風のように鳥のように」を、読んでるそうです。

この二つは肩の凝らない読み物として楽しんでいただけているようですね。人間は硬いもので勉強するばかりやなくて、時には息抜きせんかね。それやなくても、最近ではコロナ禍やウクライナでの戦争なんかばかりで、まじめに考えてたら、暗くなってしまう。

隠居で、自称「花咲かじいさん」としては、枯れかかっている日本という木に、また花を咲かそうと、お呼びがかかれば、あちこちに出かけてたんですが、コロナ禍でそれも、パツタリでした。

そやけど、去年の秋ごろからは、ようやく東京からお誘いのかかる回数も増えました。

往復の新幹線にも、多くの人が乗ってます。一時は、一車両にポツン、ポツンとしか人が乗ってませんでしたけど、今は、ほどよう埋まっています。新型コロナウイルスが広がる以前に戻

りつつありますなあ。

もつとも、コロナ禍のおかげで、オンライン会議、テレワーク、時差出勤なんかが実行されるようになりました。

それはそれで、ええことやと思います。

サラリーマン言うても、業種も職種もそれぞれ違うんですから、同じ日に、同じ時間に来ることはないと思います。そやけど以前から、帰りの時間はみなばらばらですなあ。日本人は生産性が低いと言われてますけど、会社にいる時間だけを競っても仕方ないと思います。

大体、僕ら工場でモノもつくらないでブラブラなんかしませんから。

こないだ、ツイッターを買収したイーロン・マスクさんが、従業員を大量に解雇しました。

赤字解消のためだそうです。ツイッター、あんなに流行ってたと思っていたんですが、意外ですねえ。そしてマスクさんは、残った従業員に「働け働け！」と号令かけてます。

僕思うにアメリカの競争社会は、日本とは比べものにならないほど、激しいのと違いますか。

シリコンバレーなんかも、勝った人は、それこそ大富豪でしょうけど、それは一握りで、負けた人はどないなってるんでし



◎(株)アオキ取締役会長
青木 豊彦 (あおき・とよひこ)



大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年国立和歌山大学客員教授に就任。2016年大阪市立大学学長特別顧問に就任(現在は、大阪公立大学客員教授)。2020年国立滋賀医科大学学外有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事。

ようか。

「運は動より生ず」は
中国の格言です

さて、いつものように前置きが長くなってしまいました(笑い)。今年も、新年の年賀状について触れたいと思います。

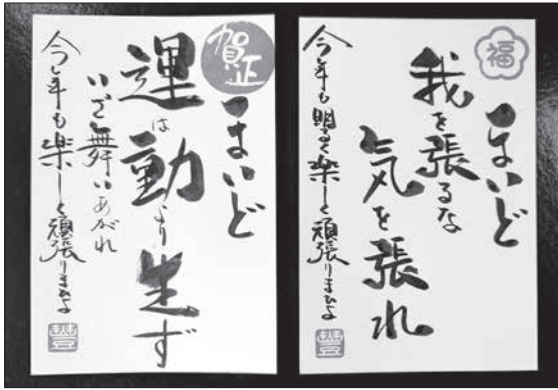
文言は、昨年のように二つのパターンをつくりました。

「運は動より生ず」と「我を張るな 気を張れ」というものです。「運は動より生ず」というのは、中国の古典に出てくる格言です。

平たく言えば、「運はあちこち動くことによって生まれる」言うんですかなあ。逆に言えば、動かないと何も起こらない、ということかもしれません。

これ中国の古い格言やから、日本に似たようなものないか、さがすと、「犬も歩けば棒に当たる」言うのがありました。

そやけど、これには二つの意味がありました。一つは「運は動より生ず」と同じ意味ですが、もう一つは「おとなしゅうしとけばええのに、何かやろうとすると災難に会



う」という意味です。

いやあ、ここで民族性がでてますなあ。日本人は慎重なのはええけど、冒険しないのがようわかりますなあ。

僕の書いた「運は動より生ず」は中国古典の方やから、みなさん間違えんでください。

考えを人に押しつけず
気配りが一番でっせ

もう一つの「我を張るな 気を張れ」は、「自分の考えばかり人に押しつけないで、気配りが一番でっせ」という意味です。とかく若いうちは、我が強く相手のことを考えんと自分の意見を押しつけてしまいます。

歳を取るとわかるのやけど、相手の気持ちをおもんばからないとね。

もつとも、歳を取ると頑固になって、相手の言うことを聞かない人も出てくるから、若いとか、年寄りとか、関係ないのかもしれないません。

まあ、どっちも人間関係に気配りして楽しゅう人生を送りましょうとやう、僕の新春のメッセージです。

ついでに言うなら、こんな言葉を友人から聞きました。「どんな縁に触れるかで全く変わる」。

そうですねあ。そのとこ気を付けないと、

悪い意味の「犬も歩けば棒に当たる」になるかもしれません。

まあ、今年はいええ年になるよう悲観的にならずに、ウサギのように跳ねて運をつかみましょう。みなさんもね。